

第1章 調査概要

第1章 調査概要

1. 調査目的

コロナ下で改めて顕在化した男女共同参画の遅れの要因の一端として、家族形態の変容、社会構造が変化しているにもかかわらず、働き方、税・社会保障制度等の制度・慣行が依然として昭和の働き方・制度・慣行となっており、現在の結婚や家族の実相と合っていないことや、無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)を含む固定的な性別役割分担意識等に基づく構造的な問題が存在することなどが指摘されている。

本調査は、前述の問題意識を念頭に、結婚・仕事・収入に関して、意識調査等を行い、男女差、年代差、学歴差、地域差を確認した上で、男女間賃金格差の要因の一端や、働き方・制度・慣行が現在の結婚や家族の実相に合っているのかどうか等を明らかにし、人生100年時代における働き方・制度を検討する際の資料となることを目的とする。

2. 調査検討委員会

本調査の実施に当たっては、有識者からなる検討委員会を設置し、開催した。

① 構成

氏名	所属
<主査> 山田 昌弘	中央大学 文学部 教授
永瀬 伸子	お茶の水女子大学基幹研究院 教授
小林 盾	成蹊大学 文学部 教授

② 開催実績

回	日時	主な課題
第1回	令和3年12月14日(火)	・調査計画について ・調査票について
第2回	令和4年1月24日(月)	・調査結果(集計速報値)について ・分析方針について ・中間報告書の作成について
第3回	令和4年3月4日(金)	・調査結果について ・今後の分析、報告書の作成について

3.モニター調査 調査事項

調査項目、設問項目一覧は以下のとおりである。

① 設問項目一覧

【スクリーニング調査】

設問番号	項目	設問文
—	性別	※性別は登録時情報を利用する為、本アンケートでは確認していない
F1	年齢	あなたの年齢をお知らせください。
F2	居住地域	お住まいの地域を教えてください。
Q1	中学卒業時の居住地	中学卒業時どこにお住まいでしたか。
Q2	配偶者状況	現在、結婚相手や配偶者、恋人がいますか。
Q3	離婚・死別経験	過去に離婚・死別の経験はありますか。
Q4	同居している人と人数	現在、同居している方がいますか。同居している人数についてもお答えください。
Q5①	①同居している子供の有無と人数(年齢別)	あなたの子供について、年齢別に①同居している子供の有無と人数 と、②別居している子供の有無と人数を教えてください。
Q5②	②別居している子供の有無と人数(年齢別)	
Q6	住居形態	現在のお住まいの住居形態を教えてください。
Q7	最終学歴	最後に行かれた(または現在行かれている)学校は次のどれにあたりますか。中退も卒業と同じ扱いでお答えください。
Q8	自身の雇用形態	あなたの職業・雇用形態について、あてはまるものを選択してください。
Q9	自身の勤務形態	現在の勤務形態について、最もあてはまるものを選択してください。
Q10	自身の業種	あなたの勤務先の業種について教えてください。
Q11	自身の職種	あなたご自身の仕事の種類について、実際にしている主な仕事の内容をお選びください。
Q12①	①自身の個人年収	今年度(2021年度)の①あなたご自身の個人年収と、②世帯年収について、教えてください。
Q12②	②世帯年収	
Q13	配偶者・恋人の雇用形態	現在の配偶者、または恋人の職業・雇用形態を教えてください。
Q14	配偶者・恋人の勤務形態	現在の配偶者、または恋人の勤務形態について、最もあてはまるものを選択してください。
Q15	配偶者・恋人の個人年収	今年度(2021年度)の配偶者、または恋人の個人年収について教えてください。

【本調査】

設問番号	項目	設問文
Q16	結婚願望	あなたは今後、結婚したいと思いますか。
Q17①	①理想の子供の数	①現実とは別に、あなたにとって理想的な子供の数は何人ですか。また、②あなたは今後、子供を育てたいと思いますか。子供がいる人は、「(今いるお子様の人数は除き)、今後何人子供を育てたいと思うか」でお答えください。
Q17②	②今後育てたい子供の数	
Q18	理想の年齢	A.あなたの人生において、下記のタイミングについて「何歳ぐらいでいたい」と考えている、もしくは考えていましたか。実際にどうであるかは別として、ご自身の理想を教えてください。また、B.あなたの人生の中で、下記のタイミングは「何歳」の時でしたか。
Q19①	①結婚相手に求める・求めたこと	結婚相手に求めることについて、教えてください。
Q19②	②現在相手に求めること	
Q20①	①理想の結婚への流れ	どのような流れで結婚したいと思っている・思っていましたか。
Q20②	②実際、どうだったか	
Q21	結婚した/結婚したい理由	現在結婚している方は、当時結婚した理由、また現在未婚の方は、今後結婚したいと思う理由について、あてはまるものをお選びください。
Q22	積極的に結婚したいと思わない理由	今後、積極的に結婚したいと思わない理由について、あてはまるものをお選びください。
Q23	配偶者・恋人との仲	あなたと配偶者、または恋人との仲について、最も当てはまるものを教えてください。
Q24	離婚可能性	将来離婚する可能性はあると思いますか。
Q25	卒業後の仕事	先ほどお答えいただいた、最終学歴を卒業された後、働かれましたか。
Q26	最終学歴後に就いた仕事の雇用形態	最終学歴後に就いた仕事の職業・雇用形態について、あてはまるものを選択してください。
Q27	最終学歴後に就いた仕事の勤め先従業員数	最終学歴後に就いた仕事について、勤め先の従業員数を教えてください。
Q28	最終学歴後に就いた仕事の継続勤務年数	最終学歴後に就いた仕事について、継続勤務年数を教えてください。
Q29①	①最終学歴後に就いた仕事の希望度・魅力度	最終学歴後に就いた仕事について、①就職前の希望度と、②実際に働いてみての魅力度を教えてください。
Q29②	②最終学歴後に就いた仕事の魅力度	
Q30	Q29①で希望通りでなかった点	どの点について希望通りでない～どちらとも言えなかったのか、あてはまるものを選択してください。
Q31	最終学歴直後に就いた仕事の要素別満足度	最終学歴直後に就いた仕事について、それぞれの要素に対する満足度を教えてください。

【本調査】

設問番号	項目	設問文
Q32①	①自分と配偶者の仕事について(結婚前)	結婚後(初婚)子供がいない時の自分と配偶者の「仕事」について、①結婚前にどのような形を望んでいるか(現在結婚していない人)、望んでいたか(現在結婚している人)、②結婚後、実際はどうだったか(現在結婚している人) について、最も当てはまるものを教えてください。
Q32②	②自分と配偶者の仕事について(結婚後)	
Q33①	①自分の収入について(結婚前)	結婚後(初婚)子供がいない時の自分の「収入」について、①結婚前にどのような形を望んでいるか(現在結婚していない人)、望んでいたか(現在結婚している人)、②結婚後、実際はどうだったか(現在結婚している人) について、最も当てはまるものを教えてください。
Q33②	②自分の収入について(結婚後)	
Q34	結婚後子供がいない時の配偶者の仕事	結婚後(初婚)子供がいない時、配偶者にはどのような形で仕事に向き合ってほしいと思っていますか。最も当てはまるものを選んでください。
Q35①	①結婚後子供がいない時の居住地希望(結婚前)	結婚後(初婚)子供がいない時の居住地の希望について、①結婚前にどのような形を望んでいるか(現在結婚していない人)、望んでいたか(現在結婚している人)、②結婚後、実際はどうだったか(現在結婚している人) について、最も当てはまるものを教えてください。
Q35②	②結婚後子供がいない時の居住地希望(結婚後)	
Q36①	①自分と配偶者の仕事について(子供が生まれる前)	第一子が生まれた後、子供が2～3歳の頃の自分と配偶者の「仕事」について、①第一子が生まれる前にどのような形を望んでいるか(現在子供がいない人)、望んでいたか(現在子供がいる人)、②子供が2～3歳の頃、実際はどうだったか(現在子供がいる人) について、最も当てはまるものを教えてください。
Q36②	②自分と配偶者の仕事について(子供が生まれた後)	
Q37①	①自分の収入について(子供が生まれる前)	第一子が生まれた後、子供が2～3歳の頃の自分の「収入」について、①第一子が生まれる前にどのような形を望んでいるか(現在結婚していない人)、望んでいたか(現在結婚している人)、②子供が2～3歳の頃、実際はどうだったか(現在子供がいる人) について、最も当てはまるものを教えてください。
Q37②	②自分の収入について(子供が生まれた後)	
Q38	子供が生まれた後の配偶者の仕事	第一子が生まれた後、子供が2～3歳の頃、配偶者にはどのような形で仕事に向き合ってほしいと思っていますか。最も当てはまるものを選んでください。
Q39	配偶者・恋人との年収の違い	配偶者・恋人との年収の違いについて、当てはまるものを全て教えてください。
Q40	昇進意欲	あなたは将来的に「昇進したい」と思いますか。
Q41	教育投資・企業内訓練について	人生の各段階における、あなたご自身へのスキルアップ～キャリアアップに向けた教育投資・企業内訓練について、それぞれ当てはまるものをお選びください。
Q42	教育投資・企業内訓練をしなかった理由	就職後～働いている段階での教育投資・企業内訓練について、どうして必要ないと判断・もしくはしたかったが出来なかったのか、理由を教えてください。
Q43	アンコンシャスバイアス	以下のような考え方について、あなたのご意見に最も近いものを教えてください。
Q44	結婚相手・恋人・デートした人数	あなたには、以下のような人が何人ぐらいいるか、それぞれお答えください。
Q45①	①70歳になった時の仕事(理想)	あなたが70歳になった時の「仕事」を考え、①どのような形が理想か と、②現実にはどうなりそうか、一番近いものをお選びください。
Q45②	②70歳になった時の仕事(現実、どうなりそうか)	

【本調査】

設問番号	項目	設問文
Q46①	①70歳になった時の家族と居住形態(理想)	あなたが70歳になった時の「家族と居住形態」を考え、①どのような形が理想か と、②現実にはどうなりそうか、一番近いものをお選びください。
Q46②	②70歳になった時の家族と居住形態(現実、どうなりそうか)	
Q47①	①70歳になった時の住まい(理想)	あなたが70歳になった時の「お住まい」を考え、①どのような形が理想か と、②現実にはどうなりそうか、一番近いものをお選びください。
Q47②	②70歳になった時の住まい(現実、どうなりそうか)	
Q48①	①70歳になった時の世帯収入(理想)	あなたが70歳になった時の「世帯収入」を考え、①どの程度が理想か と、②現実にはどうなりそうか、一番近いものをお選びください。
Q48②	②70歳になった時の世帯収入(現実、どうなりそうか)	
Q49	介護実施状況	過去～現在において、あなたご自身は介護をしている・していましたか。当てはまるものを教えてください。
Q50	介護実施時間	現在、あなたは介護にどのぐらいの時間を使っていますか。1日あたりの平均として、最も当てはまるものを教えてください。
Q51	介護への関わり方	今後、あなたの親(自分の親、配偶者の親含め)が要介護状態になった時、どのように関わるとお考えですか。お考えに最も近いものを教えてください。
Q52	自身の介護の望み	今後、あなたご自身が要介護状態になった時、どのような形での介護を望みますか。お考えに最も近いものを教えてください。
Q53①	①自身が現在抱えている不安	①現在、あなたご自身が抱えている不安と、②将来、不安に思うようなこと・状態について、それぞれ当てはまるものをお答えください。
Q53②	②将来不安に思うこと	
Q54	現在の項目ごと満足度	現在の、各項目へのあなたの満足について、それぞれ当てはまるものをお答えください。
Q55①	①20歳のころの幸福度	以下の時に、あなたはどの程度幸せでした(です)か。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点ぐらいになりますか。いずれか1つだけ選んでください。
Q55②	②現在の幸福度	

4. 調査方法・調査対象

調査方法	・インターネット・モニターに対するアンケート調査 (株式会社マーケティング・アプリケーションズの登録モニターが対象)
調査名	あなた自身に関する調査
調査対象	国内在住のインターネット・モニター(20歳以上70歳未満)

5. 調査期間

インターネット・モニター に対するアンケート調査	令和3年12月27日(月)～令和4年1月11日(火)
-----------------------------	----------------------------

6. サンプル

① 回収数：20,000人

② サンプルの割付

令和2年国勢調査における「配偶者の有無×男女年代」とエリア(2区分)に基づき、以下のとおり回収。

③ 回収サンプルの割付

回収したサンプルの構成は以下のとおりである。

【人数割合】

		①東日本			②西日本		
		未婚	既婚		未婚	既婚	
			有配偶	離死別		有配偶	離死別
男性	20代	3.5	0.6	0.02	3.0	0.6	0.02
	30代	2.1	2.7	0.1	1.6	2.4	0.1
	40代	1.9	4.3	0.3	1.5	3.7	0.3
	50代	1.4	4.1	0.4	1.0	3.5	0.4
	60代	0.8	4.0	0.5	0.6	3.7	0.5
女性	20代	3.2	0.8	0.05	2.7	0.8	0.1
	30代	1.4	3.2	0.2	1.2	2.8	0.2
	40代	1.2	4.6	0.6	1.0	4.0	0.6
	50代	0.8	4.3	0.8	0.7	3.8	0.7
	60代	0.4	4.1	1.0	0.3	3.9	1.0
合計		100%					

【回収割付】

		①東日本			②西日本		
		未婚	既婚		未婚	既婚	
			有配偶	離死別		有配偶	離死別
男性	20代	706	118	4	595	118	4
	30代	410	545	22	323	487	22
	40代	376	855	58	294	749	57
	50代	272	820	85	203	699	80
	60代	156	804	98	123	740	96
女性	20代	636	167	9	549	160	11
	30代	287	632	45	239	561	47
	40代	236	920	111	204	808	113
	50代	158	856	150	136	754	150
	60代	77	824	200	68	770	201
合計		2万人					

本調査 回収数

		①東日本			②西日本		
		未婚	既婚		未婚	既婚	
			有配偶	離死別		有配偶	離死別
男性	20代	708	116	5	596	117	4
	30代	412	541	24	326	485	22
	40代	377	854	58	297	746	57
	50代	275	816	86	203	696	83
	60代	156	804	98	123	740	96
女性	20代	636	167	9	550	159	11
	30代	289	629	46	240	560	47
	40代	239	915	113	205	806	114
	50代	160	853	151	136	754	150
	60代	78	823	200	74	776	189
合計		2万人					

※配偶関係「不詳」と回答している人を除いて総数を算出

※東日本・西日本の定義:東日本とは新潟県、長野県及び静岡県以東の都道県、西日本とは富山県、岐阜県及び愛知県以西の府県としている

7. 報告書内で使用する用語、定義

本調査で使用する用語		本調査で用いた定義	
世帯類型	夫婦のみ世帯	世帯主とその配偶者のみで構成する世帯。本調査では、回答者とその配偶者。	
	夫婦と子供から成る世帯	夫婦と未婚の子のみで構成する世帯。	
	単独世帯	世帯員が一人だけ(回答者のみ)の世帯。本調査では回答者本人のみの世帯。	
	母子・父子世帯	片親と19歳以下の子供を含む世帯。本調査の定義においては、20歳以上の子供がいても、他に19歳以下の子供がいれば母子・父子世帯とみなす。他に祖父母などと同居していても該当。対象者は未婚もしくは離死別(既婚は除外)。	
	その他世帯	上記以外の世帯(三世代世帯も含む)。	
配偶者の有無 ※回収設定時の分類	未婚	まだ結婚したことがない人をいう。未婚には乳幼児なども含む。	
	既婚	有配偶	現在結婚している人をいう。(事実婚も含む)
		離別・死別	「死別」とは配偶者と死別し、再婚していない人をいう。「離別」とは離婚し、再婚していない人をいう。
配偶者の有無 ※分析で使用する分類	独身	現在、配偶者がいない人をいう。(「死別」「離別」経験の上、現在配偶者がいない人も含む)	
	既婚	現在結婚している人をいう。(事実婚も含む)	
既婚の定義	法律婚	婚姻の届出をしている。	
	事実婚・内縁	婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にあることを指す。本人同士に結婚する意思があり、共同生活を営んでいるのであれば事実婚として成立。	
雇用形態	正規雇用	就業状況を尋ねる設問のうち、「正規の会社員・職員・従業員」「会社などの役員」を選択した人。	
	非正規雇用	同設問において、「パート・アルバイト」「労働派遣事業所の派遣社員」「契約社員」「嘱託」「その他の形で雇用されている」を選択した人。	
	自営業・自由業・その他	同設問において、「自営業・自由業(従業員がいる)」「自営業・自由業(従業員がいない)」「自家営業の手伝い(家族従業者)」「家庭内の賃仕事(内職)」「その他」を選択した人。	
	働いていない	同設問において、「主婦・主夫」「学生」「その他(働いていない)」を選択した人。	
就職氷河期	就職氷河期コア世代	1975年～1984年生まれ＝2021年調査時点37歳～46歳で定義。	
	就職氷河期コア世代より若い世代	1985年生まれ以降＝2021年調査時点20歳～36歳で定義。	
	就職氷河期コア世代より上の世代	1974年生まれより前＝2021年調査時点47歳～69歳で定義。	

なお、結果数値(%)は、少数第二位を四捨五入(報告書内では少数第一位まで表出)しているため、合計の数字と内訳の計とが一致しない場合がある。

【集計結果について】

・クロス集計や平均値の比較に関してはカイ2乗検定等による検定を行っている。グラフ・図表で示した内容のうち、5%水準で統計的に有意ではない結果については、注釈にてその旨を記す。(特段記載がない箇所は、5%水準で統計的に有意である結果である)